

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 3 年 8 月 24 日 報告者：池崎 幸司

行事種別	基礎講座	行事番号	210002993	
開催日	令和 3 年 8 月 14 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 30 分
場所	WEB ライブ配信			
テーマ	日当直で困らない尿沈渣の基礎 (円柱・結晶編)			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	国家公務員共済組合連合会 名城病院		池崎幸司 技師	
講師	1. 円柱の見方	社会医療法人明陽会 成田記念病院	望月里恵	
	2. 結晶の見方	特定医療法人衆済会 増子記念病院	平田弘美	
	3. ケーススタディ	藤田医科大学	星 雅人	
内容	<p>1. 円柱の見方</p> <p>円柱について形成条件、出現の意味、意義についての説明があり、尿細管腔の閉鎖時間と腎臓の障害度合いについての解説があった。円柱は基質成分のみの硝子円柱と成分円柱に分けられるが、硝子円柱では円柱の類似物との判別方法としてフローチャートをもちいた症例解説をしてもらった。成分円柱では各円柱の臨床的意義と主な疾患について解説があり、それぞれ写真からその特徴、背景などの判別に繋がる注意点を教わった。終盤は問題形式で、多くの写真を示し分かり易く解説してもらった。</p> <p>2. 結晶の見方</p> <p>通常結晶について、各種の色調,形状,pH,性状,臨床的意義,出現原因について解説があった。異常結晶類は臨床的意義が高いため、各種結晶の解説以外に確認方法について偏光顕微鏡写真や確認試験について教わった。塩類の析出についてはその溶解方法を解説してもらった。その他の結晶として、ヘモジデリン顆粒はその証明にベルリンブルー染色や患者情報の必要性について、マルベリー小体はファブリー病の病態,分類,治療法についても詳しく解説してもらった。終盤は問題形式で、多くの写真を示し分かり易く解説してもらった。</p> <p>3. ケーススタディ</p> <p>チャットを利用した参加型のケーススタディで、シュウ酸カルシウム結晶の尿中に出現する過程、その観察の着目点(肥大化・凝集)について説明があった。シュウ酸カルシウムは尿路結石の成分であることから、結石についてその形成過程、形成場所、再発率、治療法まで詳しく解説してもらった。また、診療ガイドラインから同じ結晶でも水和物の</p>			

	<p>違いで治療戦略が変わる可能性があるという考え方を教えてもらった。</p> <p>通常結晶でも食事によるものと病気が疑われるものがあり、その観察での注意点、考え方が聞けて、臨床への結果報告に追加でコメントが出来るような良い勉強になったと思う。</p> <p>どの講義も大変有意義であり、参加者の今後の仕事に役立つと思われました。</p>
参加者	総数：参加人数 127 名（愛臨技会員 76 名、他県会員 51 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）
共催、後援など	なし

2019.12.7